

月 齢 ● 新月1日、● 上弦9日、○ 満月17日、● 下弦23日

惑星情報 水星 明け方 東(月末)(おとめ座 → しし座 1 → 5 → -1等級)

金星 夕方 西 (おとめ座 → てんびん座 -4 等級)

火星 夕方 南西(さそり座 → へびつかい座 → いて座 0等級)

土星 夕方 南西(へびつかい座 0等級)

☆ 中秋の名月(15日)

15日は旧暦8月15日にあたり、お月見が行われます。この日に見られる月は「中秋の名月」と呼ばれます。また、旧暦9月13日にあたる10月13日に見られる月を「後(のち)の名月」といいます。昔は「中秋の名月」と「後の名月」の両方を見ないと、片月見といって縁起が良くないとされました。晴れていたら、ぜひ両方のお月見をお楽しみください。

旧暦は月の形をもとにしていて、新月の日を1日とします。新月から次の新月まではおよそ30日なので、旧暦の15日は満月になりそうです。実際には、月の軌道はゆがんでいて、動きが一定でないため、満月になる日は旧暦の15日から1、2日ほどずれることがあります。今年は「中秋の名月」の2日後、17日が満月です。

科学館では満月が見られる 17 日の 19 時 45 分から特別観測会を予定しています (19 時 15 分~19 時 45 分に 1 階科学館入口前で先着順に受付、定員 100 名、くもり、雨、強風の場合は中止)。

27 1471 7 10 1 2 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2 2 1 1 1 1 2			
2016年	旧暦	月の呼び名	お供え物
9月15日	8月15日(十五夜)	中秋の名月、芋名月	里芋
10月13日	9月13日(十三夜)	後の名月、栗名月、豆名月	栗、大豆

☆ 東の空に秋の星座が見られます

天頂には、こと座のベガ、わし座のアルタイル、はくちょう座のデネブからなる「夏の大三角」が、 東には秋の星座が見られるようになります。

東の中ほどの高さにある、2 等星と 3 等星を結んでできる大きな四角は、ペガスス座の一部です。これは「秋の四辺形」または「ペガススの四辺形」と呼ばれています。